

«世界初» DLPとIRを使用して、ダイレクトイメージ焼結のポリマーベースの粉末床溶解結合法を導入

Posted on 7月1, 2021

ダイレクトイメージ焼結のための新しい積層造形技術は、世界で初めてその概念を証明したビジテックによってDISと名付けられました。



SLS技術で知られる従来の単一焦点レーザービームの代わりに、独自のDLPベースの強力なIR光学エンジンを使用することで、印刷速度、解像度、造形領域を大幅に向上させます。ビジテックは、広く使用

されている選択的レーザー焼結 (SLS) 技術の制限を解消し、産業用アプリケーションのより良い候補として粉末床溶解結合法 (PBF) を開発することを目指しました。これを達成するには、高スループットと高解像度が必要です。

研究開発チームのアプローチは、強力なDLPで制御されたIR光源を使用してポリマー粉末を高精度で溶解および融合しながら、1回のショットで全層の画像投影を実現することでした。途中でいくつかの重要な課題を解決することが含まれていましたが、このアプローチが機能することが証明され、大きな前進を遂げることができました。この成功によりPBFの新しい概念が誕生しただけでなく、ビジュテックの積層造形用のスクロールサブシステムを使用した、費用対効果の高い量産能力が実現し、マシンビルダーと積層造形業界の両方が探求する多くのチャンスが生まれます。

IRを使用したビジュテックのDISに関する新しい概念に関するニュースは、3dprint.comで取り上げられていました。記事全文を読むには、右側のボタンをクリックしてください。

[外部サイトの記事を表示](#)

この積層造形の新しいコンセプトに興味をお持ちですか？またはDISがビジネスにどのように役立つかについて、ご関心がありますか？皆さまのご意見やご質問をお寄せください。

[お問い合わせ](#)